

市民協働推進モデル事業相互評価表

事業名	学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業～教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて～		実施団体名	プラウド岡山	事業総額 (決算額)	720,435円
			担当課名	岡山市教育委員会事務局指導課 人権推進課 女性が輝くまちづくり推進課		
NO.	評価項目		自己採点 (各項目20点満点)	評価の理由		
1	目的・課題 目標設定	当初に設定した目標を達成することができましたか？	20/20	当初に計画していた事業である、教職員向け啓発パンフレット、一般市民向け啓発パンフレットの制作、当事者児童生徒とその保護者を対象としたサロン開催、岡山市人権フェスティバルへのパネル出展、アンケート調査報告会等、すべて実施・完了することができた。 特に、本事業の柱となった教職員向け啓発パンフレットと一般市民向け啓発パンフレットの制作は、当初の予定よりかなり早く遂行することができ、関係各所へのより早急・広範囲な配布につながった。		
2	発展性	さらなる発展や波及につながる成果を得られましたか？	20/20	パンフレットの配布直後から職場や団体内で配布したいという問い合わせ寄せられ、学校や教育委員会、行政機関、公民館等から「性の多様性」「性的マイノリティの人権」に関する研修の機会をもちたいという依頼も受けている。性的マイノリティの生きづらさは、特に教育や行政に関わる人々には重要な人権課題として認知されつつあり、多くの人が正しく学ぶ機会を求めていると感じる。 教職員パンフレットは岡山市教育委員会が、一般啓発用パンフレットは岡山県人権施策推進課がそれぞれ増刷を決定しており、今後さらに活用されることが予想される。これによって、性は多様であることをより多くの人が知ることができ、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に近づくと考える。		
3	実現性	連絡調整、経理、報告など事業に関する事務は適正に行われましたか？	20/20	各協働課と必要な連絡はスムーズに行うことができ、事業の実施に関しても望む協力を得ることができた。 経理に関してもプラウド岡市内で複数のチェックと公開が随時行われ、記入の仕方等事務についても市民協働局の細やかなフォローを受けつつ適正に遂行できた。		
4	成果	利用者、参加者をはじめ、市民の満足度向上につながりましたか？	15/20	一般市民向け啓発パンフレットを市内の公民館や県内外の高校・大学、市民団体等に配布したあとには、「自分の性について初めて考えてみた」「性は多様であることがよくわかった」「性的マイノリティについてよくわかった」等の感想が届いている。しかし、教職員向け啓発パンフレットも含め、利用者の満足度については、これから広がるものと思われ、現時点での評価は難しい。 8月の教職員向けサロンには、主に市外の教育委員会や学校から多くの参加者があった。社会や家庭での理解が深まっているとは言えない時期に、学校で性の多様性を児童生徒にどう教えていけばよいか、教職員と当事者それぞれの立場から意見が出され、有意義な討論となった。 また、10月のアンケート調査報告会では、行政職員や市外の教職員の参加を得て、当事者児童生徒の困り感や教職員に望まれることなどを、当事者の体験談を交えて報告し、会場からは保護者や教職員から意見が出され、今後の支援や取り組みを考える場となった。		
5	協働効果	相互が役割と責任を担い、協働による相乗効果を生むことができましたか？	20/20	岡山市教育委員会、および、人権推進課や女性が輝くまちづくり推進課からそれぞれの立場で、また一般市民感覚の疑問・意見・助言等を出してもらったことで、パンフレットやパネルがよりわかりやすい内容になった。 協働によって成果物に対していわばお墨付きをもらったような形になり、市民の信頼度が上がったと考えられる。すでに成果物が配布された教育機関・組織・地域からも「わかりやすい」と好評で、一般市民向けパンフレットは岡山県人権施策推進室で増刷され、教職員向けパンフレットも岡山市内の全教職員に配布されるため岡山市教委で増刷された。 実施団体の専門性と市の機能が当初の想定どおりに発揮されており、協働でなければ生まれなかった成果につながっていると考えられる。		
総合評価(実施団体より)			「主に学校現場で多様なセクシュアリティの共生を容認する雰囲気や醸成されることを支援し多様性を認め合う社会の実現に寄与する。そのため、LGBT当事者の現状・課題などについてわかりやすくまとめたパンフレットを作成して教職員への理解を促進するほか、困難を抱える児童・生徒やその保護者を対象としたサロン運営、啓発リーフレットやパネル展、アンケート報告会等を通じて一般市民への啓発につとめる」という今回の事業の目標に対しては、当面の評価として達成できたと考えている。 ただ、教育現場をはじめ、あらゆる機会をとらえて多様な性について知る機会を設けることが、性的マイノリティの生きづらさを解消するとともに、多様性を認め合う社会の実現に大きく寄与すると考えられ、その道程はこれからも続くものである。この大きな動きの一步として本事業を高く評価したい。			
6	総合評価(担当課より) 岡山市教育委員会 人権推進課 女性が輝くまちづくり推進課		<p>(岡山市教委)実施団体と教育委員会それぞれの専門性が生かされ、性的マイノリティについて教職員に正しい理解を促すパンフレットを完成することができた。教育委員会では、この成果物を市内全教職員に配付できるよう増刷し、研修を組織的に推進することとしている。協働による成果が最大限に発揮できた事業として高く評価したい。 なお、先進的な取組として一部メディアで紹介されたことを付言しておく。</p> <p>(人権推進課)人権フェスティバルは来場者が1万人を超える大規模なイベントであり、パネル展示をすることによって、多くの来場者が目にするのであったため、有効な啓発が行われたと評価できる。また一般市民向けパンフレットに関しては、わかりやすい内容になったと評価しており、来年度は、このパンフレットを用いたイベントの開催を検討していきたい。</p> <p>(女性が輝くまちづくり推進課) ○一般向けパンフレットの作成・活用について ・「限られた一部の人の問題」「自分には関係ない」と思われがちな性の多様性について、基本的な知識をしっかりと盛り込みつつ、当事者の方の視点から、わかりやすい平易な言葉や図表、イラストを活用し、リアルな悩みや思い、現状など、「ともに今を生きる自分自身にかかわること」として市民に感じていただき、理解促進に向けて考えるきっかけとなるようなパンフレットを作成できたことは、大きな成果であると考えている。 ・当課が実施する講演会等で配付するとともに、大学の授業や市職員の理解促進の資料とするなど、幅広い対象の啓発に活用しており、この資料のわかりやすさ、優れた汎用性を高く評価する。 ○協働によるさらなる発展性について ・パンフレット作成を通じて、協働団体であるプラウド岡山に加えて、教育委員会や人権推進課などの関係部署、授業で活用するためパンフレットを提供した岡山大学など、さまざまな団体と連携を深めることができた。当課の実施する男女共同参画の施策を推進するうえで、小中学校などの学校教育や人権施策、民間団体や大学生を含む若い世代の参加促進は、特に重点的に、連携して取り組む必要があるため、この事業をきっかけとして施策展開の広がりが期待できる。</p>			
総合評価(ESD・市民協働推進センター)			平成27年度に実施したニーズ調査事業の段階で次年度の展開が想定されていたこともあり、提案団体と担当課(3課)の間で目標や工程が十分に共有され、最初から最後まで迷うことなく進められた事業でした。一般向け、教員向けの2種類が作成されたパンフレットはメディア、岡山市外の当事者、自治体などから注目を集め、提案団体には各所から問い合わせや講演依頼が届くなど、当初の想定を大きく超える波及効果が生まれました。これにより学校関係者の期待も高まっていることが予想され、次年度以降も教育現場で積極的に活用されることが期待されます。性的マイノリティに対する認識は着実に広がり、深まりつつありますが、制度やハードにおいては具体的な変化は見られません。提案団体と担当課には関係性を維持しながら、ひきつづき岡山市の多様性向上に寄与していただくことを期待しています。			